

第14回大図研オープンカレッジ

～How to Find? 変わりつつある情報探索～

インターネットの普及から約10年、OPACも自館だけのものからWWW対応のものになり、そして総合目録など検索ツールも充実してきました。

そして図書だけでなく、学術情報や関連情報も次々とWWWに掲載され、それらを検索する方法も格段の進歩をとげています。

あふれる情報の中からいかにして自分に必要な情報を手に入れるか。それは学生や研究者の命題であると同時に、彼らを支援する図書館員にとってはその存在価値に関わる大きな課題です。

今回の大図研オープンカレッジでは、情報の検索や収集をメインテーマに、多機能化する検索エンジンやポータル化するOPACなど、従来の探索方法から変容しつつある新しい情報探索について考えてみたいと思います。

講演者および講演内容

1. 講演 兼宗 進氏（一橋大学総合情報処理センター）
「インターネット検索と大学図書館」
2. 事例報告 岡本 真氏（ACADEMIC RESOURCE GUIDE）
「大学図書館のホームページを設計しよう -OPACを中心に」

日時：2005年6月18日(土) 14:30～17:00
(14:00開場)
会場：日本図書館協会会館2階研修室
参加費：大図研会員・学生1,000円 非会員1,500円
主催：大学図書館問題研究会
問合せ：
申込先：大図研オープンカレッジ実行委員会
doc-entry@daitoken.com

Daitoken Open College